

## 6月定例県議会の概要

第315回定例県議会が、6月23日から7月4日までの12日間にわたって開かれ、今定例会に提出された条例案や条例改正案、請負契約の変更など44議案が審議されました。

代表質問は6月26日、27日に、一般質問は6月30日、7月1日の計4日間にわたって行われ、12人の議員が県政全般について質問し、活発な議論が交わされました。

また、会期中には常任委員会が開催され、付託された議案及び請願の審査が行われました。

7月4日の最終日には、各常任委員長報告が行われ、いずれも原案のとおり可決、承認及び報告受理されるとともに、特別委員会の調査並びに審査の経過について、中間報告が行われました。

同日、正副議長選挙が行われ、議長に山下力議員が、副議長に井岡正徳議員が選出されました。

さらに、議会運営委員会、常任委員会の正副委員長及び委員並びに特別委員会の正副委員長の選出を行うとともに、監査委員の選任議案に同意されました。

# 奈良県議会

第22号

だより

発行／奈良県議会 編集／議会広報委員会  
 平成26年8月1日発行  
 〒630-0850 奈良市登大路町30番地  
 TEL 0742-27-8964  
 奈良県議会だよりは年4回(6、8、12、2月)の発行予定です。

## 奈良県議会議員の定数並びに選挙区及び選挙区別定数について

改正公職選挙法及び、平成22年国勢調査の結果を受け、平成25年12月13日に協議等の場として、議員定数等検討委員会が設置され、以来7回にわたって検討会が重ねられました。

その間、法律の解釈・運用、均衡ある県土の発展、さらには県民意識と県勢の諸状況、また全国の議員定数の改正状況等を考慮しながら、慎重な審議が行われました。

その結果、総定数、選挙区及び選挙区別定数については、委員会審査や住民代表機関として民意を反映させる議会の役割が果たせるよう、現行の条例どおりとするとともに、市郡により表記するとした答申を議長に提出されました。

この答申を尊重した条例改正案が、6月定例会において可決されました。

## 議会トピックス



### 正副議長、各委員会の委員が決まりました



議長  
山下力  
(民主党)



副議長  
井岡正徳  
(自由民主党)



監査委員  
安井宏一  
(自由民主党)



監査委員  
藤野良次  
(民主党)

## 常任委員会 新委員名簿 (敬称略)

### 総務警察委員会

総務部、地域振興部、会計局、選挙管理委員会、人事委員会、監査委員及び公安委員会の所管に属する事務に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項を所管します。(定数9名)



委員長  
出口 武男



副委員長  
大国 正博

委員  
藤野 良次 山村 幸穂  
田中 惟允 中野 雅史  
乾 浩之 荻田 義雄  
森山 賀文

### 厚生委員会

健康福祉部及び医療政策部の所管に属する事務に関する事項を所管します。(定数9名)



委員  
除 真夕美



副委員長  
安井 宏一

委員  
井岡 正徳 米田 忠則  
尾崎 充典 小泉 米造  
小林 照代 梶川 虔二

### 経済労働委員会

産業・雇用振興部、農林部、労働委員会及び内水面漁場管理委員会の所管に属する事務に関する事項を所管します。(定数8名)



委員長  
粒谷 友示



副委員長  
森川 喜之

委員  
岡 史朗 今井 光子  
松尾 勇臣 和田 恵治  
神田加津代 中村 昭

### 建設委員会

県土マネジメント部、水道局及び収用委員会の所管に属する事務に関する事項を所管します。(定数9名)



委員長  
上田 悟



副委員長  
辻本 黎士

委員  
太田 敦 秋本登志嗣  
岩田 国夫 山下 力  
国中 憲治 川口 正志

### 文教くらし委員会

くらし創造部及び教育委員会の所管に属する事務に関する事項を所管します。(定数9名)



委員長  
高柳 忠夫



副委員長  
大坪 宏通

委員  
宮木 健一 奥山 博康  
阪口 保 山本 進章  
猪奥 美里 新谷 紘一  
宮本 次郎

※議会運営委員会及び各特別委員会の委員名簿については、4頁に掲載しています。



## 大和郡山市中心市街地の まちづくりに必要な道路整備について

小泉 米造議員(自由民主党改革)

**問** 都市計画道路高田矢田線のJR郡山駅から近鉄郡山駅までの区間、通称「矢田町通り」について、中心市街地のまちづくりを見据えた県の見直し方針、並びに、大和郡山市との連携に関して県の考えを伺いたい。

**答** 大和郡山市の中心市街地では、誰もが徒歩やバスで移動しやすく回遊性の高い環境や、人々が溜まり、賑わう環境を整えることが重要である。通称「矢田町通り」については、自動車を極力排除し歩行者や小型バスが回遊できる計画に変更することが必要だと考えており、まちづくりの視点から都市計画の見直しを提案していきたい。また、市が行う検討の参考になるアイデアを提案し、共同による検討も呼びかけていきたい。

### その他の質問項目

●少子化対策●企業立地の推進  
●がん対策の推進●精神障害者の医療費助成●領土に関する教育



## 奈良マラソンについて

新谷 紘一議員(自由民主党)

**問** 奈良マラソンは今年も12月13日、14日の両日に開催されるが、この第5回記念大会を経済効果も含めどのように盛り上げようとしているのか。また、今回の記念大会を契機として、今後「奈良マラソン」をどのように発展させようとしているのか。

**答** 奈良マラソンは、奈良の冬の風物詩として定着し、高い評価をいただいている。今年も第5回記念大会として、奈良県民粋としてフルマラソンの定員を増員した。さらに、鴻ノ池陸上競技場での催事会場の拡充などにより、記念大会にふさわしい盛り上がり創出できるものと考えている。今後も奈良マラソンが、観光振興や地元経済の活性化に寄与することはもちろんのこと、多くの県民が応援やボランティアに参加することにより、奈良のおもてなしの気持ちが高まっていくことを期待している。

### その他の質問項目

●リニア中央新幹線●観光振興の取組●大和茶の振興●林業基金の解散●道路整備●新警察本部長の所信



## 憲法と平和について

宮本 次郎議員(日本共産党)

**問** 安倍内閣が、憲法の解釈を変えて、戦争する国づくりにひた走る状況にあるなか、解釈改憲、集団的自衛権行使など、憲法と平和に対する知事の所見を伺いたい。

**答** 公務員としての知事は、現行の憲法を尊重し擁護することを前提として、県政を推進していくことが基本であり、平和を守るということは当然のことであると考えている。集団的自衛権については、我が国の防衛の根本に関わる極めて重要な問題であり、国政の場でしっかり議論していただくべきものだと考えている。また、憲法解釈のプロセスについても、極めて重要な政治的判断を要する事項であることから、知事の立場から、意見を申し上げるべきではないと思っている。

### その他の質問項目

●医療提供体制の確保●若草山へのモノレール設置と賑わいづくり●道路整備における安全対策●教育のあり方



## 広域的な公共交通 ネットワークの確保について

森川 喜之議員(民主党)

**問** 今後、廃止路線になり得る路線バスの代替交通手段として、広域的なコミュニティバスへの支援などが必要になると考えるが、県内の広域的な公共交通ネットワークを確保するため、県はどのように取り組んでいくのか、知事の所見を伺いたい。

**答** 将来の公共交通の確保に向けては、市町村のコミュニティバスや、私設バス、買い物バスも組み合わせ、地域の交通体系を考えていくことが重要である。バス運行のあり方についてPDCAサイクルによる定期的な検証を重ね、各市町村の実態や実情も伺いながら、更なる改善策や利用促進策、支援のあり方などについて検討を進めたい。今後とも引き続き、県、市町村、交通事業者等の関係者でアイデアを出し合い、移動ニーズに応じた交通サービスの実現に取り組んでまいりたい。

### その他の質問項目

●人口減少問題に対する全県的な対応●葛城市グリーンセンター●介護保険制度改正への対応●小・中学校における特別支援教育





代 表 質 問



若者への支援について

大国 正博議員(公明党)

**問** 全国的な状況を見ると、若者サポートステーションとひきこもり地域支援センターが都道府県に設置されているケースが多く、双方が連携してニート支援に取り組んでおられる。そこで、ニートの中でも、特にひきこもり状態の若者や家族が幅広く相談できる総合相談窓口の設置が必要と考えるがどうか。

**答** 県内のニートの人数は、平成24年では約8,300人であり、その半数程度が「ひきこもり」と言われていることから、まだまだ多くの若者やそのご家族に支援の手をさしのべていく必要があり、「ひきこもり」の総合的な相談窓口の設置は大変重要なことと考えている。「ひきこもり」状態にある若者の社会参加を支援するため、その社会的な原因等を研究するとともに、本人やその家族が相談しやすい総合的な相談窓口の設置に向け、関係機関の協力を得ながら、検討を開始していきたい。

その他の質問項目

- 文化の振興●地域包括ケアシステムの構築●健康寿命日本一に向けた取組●奈良市中町駐車場



動物愛護に対する県の取組について

山本 進章議員(なら元気クラブ)

**問** うだ・アニマルパークのこれまでの取組を踏まえ、今後どのように取り組もうと考えておられるのか。特に、「いのちの教育」について、奈良県の動物愛護行政の根幹と考えるが、今後の進め方について伺いたい。

**答** うだ・アニマルパークは、動物と直にふれあえる場であり、また動物の生と死が隣り合わせの場であることから、開園当初より「いのちの教育」を実施している。専門の教員を配置し、県内小学校の生活科や道徳の学習に活かすなど、全国でも注目されている取組であり、モデル校の増加やプログラムの中高校生への拡大、職場体験の積極的な受け入れなどにより、「いのち」の尊さをより多くの子ども達に伝え、動物への思いやりの心を育み、豊かな人間性をもつ子どもの育成に取り組んでまいる。

その他の質問項目

- 自然エネルギーに対する県の取組●公契約条例●県南部・東部地域の振興●明日香村への支援●京奈和自動車道●障がい者就労施設等からの優先調達取組



一 般 質 問



観光ボランティアガイドへの支援について

上田 悟議員(自由民主党)

**問** おもてなしの心あふれる案内で、本県の観光振興に大いに貢献している観光ボランティアガイドの方々に、県では、どのように支援していかれるのか。

**答** 県では奈良県観光ボランティアガイド連絡会の事務局を担っており、各団体代表者による意見交換会やガイド全員の研修会を開催している。また、各ウォークイベントへの支援として、資料代等の補助やリーフレットの作成、各種メディアへのPRなどに努めている。今後とも密に連携をとりながら、活動の更なる活性化のため、積極的な支援を行ってまいる。

その他の質問項目

- 奈良県経済の活性化に向けた取組●まほろば健康パーク●小学校外国語活動



ER型救急と研修医制度について

尾崎 充典議員(民主党)

**問** 「断らない救急」を実現し、県民の命を守るためには、全ての疾病を見立てる「総合診療医」を多く育てることが重要かつ急務である。そのために、研修医一人あたり年間1000例以上の経験を積むことができるER型救急の現場の提供が必要と考える。2017年春開院予定の新奈良県総合医療センターにER型救急の導入を検討すべきではないか。

**答** 新総合医療センターではER型診療施設を設け、成人と小児部門を分けて整備し、充実させる予定。リスクを伴う救急現場であるため、研修医が優秀な指導医等のもとで、指導を受けられる環境を整えることが重要な課題と認識しており、そのため、法人内に教育研修センターを設立し、救急医療に関わる各種医療職の教育・研修による指導者の育成にも取り組んでいただく。

その他の質問項目

- がん患者に対する心のケア



奈良県を相撲の発祥の地としてアピールし、地域振興に活用することについて

和田 恵治議員(なら元気クラブ)

**問** 県では、大相撲を活用した奈良県のPRに取り組むようだが、県内各地域で相撲の伝承活動が進んでいることを踏まえ、今後、どのように、奈良県が相撲の発祥の地であり、大相撲の発展を願っていることをアピールし、地域振興に活かしていこうと考えているのか。

**答** 相撲とのつながりを活かして奈良県の地域振興を図るため、平成27年1月に両国国技館で開催される初場所の幕内最高優勝力士に奈良県知事賞を贈呈し、奈良県は相撲発祥の地であることを、改めて全国にアピールしたい。また、県産農産物等のPRのため副賞に県産食材を贈るとともに、関係市町村や団体と連携し、相撲にまつわる歴史や地域の取組を全国に発信してまいる。

その他の質問項目

- なら食と農の魅力創造国際大学校●認知症対策●医療の質の向上と健康長寿を目指したマイ健康カードの導入

一般質問



陸上自衛隊駐屯地の誘致問題について

今井 光子議員 (日本共産党)

問 自衛隊は国防が本来任務。防災を理由にヘリポートの誘致を進めているが、八尾駐屯地から10分まで到着可。県は国にヘリコプターの訓練ができると要望しているが、かえって危険。調査費がついたが取りやめの結論もありうる。駐屯地誘致の現段階の状況はどうか。

答 自衛隊は、災害対策において自己完結型で行動できる唯一の組織であり、初動対応や南海トラフ巨大地震の救援を迅速に行うために、ヘリポートを併設した駐屯地が必要であると考えている。現段階の取組は、防衛省に対し、県の防災対策等について情報提供を行っているところだが、防衛省の調査が具体化すれば、必要な対応を行いたい。今後も、五條市などとともに、県民や周辺市町村の理解と合意形成を図ってまいりたい。

その他の質問項目

- 東朋香芝病院休院後の中和地域の救急医療体制 ●原油価格の高騰対策 ●駅前ターミナルの利便性の向上



県道榎原神宮東口停車場飛鳥線について

神田 加津代議員 (自由民主党)

問 中和地域の観光振興に大きな役割を果たす県道榎原神宮東口停車場飛鳥線の進捗状況と今後の見通しについて伺いたい。また、地域の方々に大切にされてきた「いも洗い地蔵」については、どのように移転を行っているのか。

答 現在、和田町の0.8km間については一部を除いて整備を終えており、石川町の0.6km間についても、舗装工事を進めているところ。最後の200m区間は、埋蔵文化財の発掘調査を進めており、調査・工事が順調に進めば、平成27年度内に共用できると考えている。また、「いも洗い地蔵」は、久米寺でお預かりいただいております。移設にあたっては、以前のたたずまいを出来るだけ残せるよう配慮してまいりたい。

その他の質問項目

- リニア中央新幹線 ●女性が輝く奈良県づくり ●大和三山における「なら四季彩の庭」づくりの推進 ●JAならけん「まほろばキッチン」



学研高山地区第2工区について

粒谷 友示議員 (自由民主党改革)

問 学研高山地区第2工区は、企業誘致を核とした新たなまちづくりなどで高い潜在能力を有しており、リニア中間駅の誘致に関わらず整備すべきと考える。また、当地区の6割を所有するURがその土地を平成30年度までに処分すると聞いている。県の所見を伺いたい。

答 県はこれまで、まちづくりの提案を生駒市及び都市再生機構に対して積極的に行ってきたこと、整備が必要であるという考えは今も変わりなく、事業化においても三者の方向性の一致が重要であると思う。生駒市が企業立地を中心とした開発に向けた方向性を明確に示し、例えばJRの所有地を購入するなど具体的な熟意を示されるのであれば、県としても相応の協力を惜しむものではない。

その他の質問項目

- 辻町ICの整備 ●教職員の質の確保

議会運営委員会 新委員名簿 (敬称略)

議会運営委員会は、次に掲げる事項に関する調査を行い、議案、陳情等を審査します。

- ①議会の運営に関する事項
②議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
③議長の諮問に関する事項



委員長 国中 憲治



副委員長 森山 賀文

- 委員
宮木 健一
大国 正博
藤野 良次
宮本 次郎
上田 悟
荻田 義雄
岩田 国夫
今井 光子
和田 恵治
新谷 紘一

国への意見書

この定例会では、意見書5件を可決しました。

意見書は、内閣総理大臣のほか関係大臣などに提出しました。

- 「手話言語法(仮称)」の制定を求める意見書
●少数数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書
●原油価格高騰対策の早期実施に関する意見書
●雇用の安定を求める意見書
●軽度外傷性脳損傷に関わる周知及び労災認定基準の改正などを要請する意見書

「なら燈花会」に併せて県議会議場を一般開放します。

《議場見て歩き》

今年も県議会議場を「なら燈花会」の開催されます8月5日から14日まで一般開放いたします。

日頃は入ることができない議員席から、議場の雰囲気を感じていただくことができます。

また、2階ロビーでは「議会ミニ音楽会」の開催も予定しておりますので、「なら燈花会」にいられた際にはお立ち寄りいただき、県議会を身近なものとして感じ取っていただけたら幸いです。

お待ちしております。

特別委員会 新委員名簿 (敬称略)

エネルギー政策推進特別委員会

エネルギー政策に関する事、再生可能エネルギーの普及に関する事を調査並びに審査します。(定数9名)



委員長 猪俣 美里



副委員長 宮本 次郎

- 委員
井岡 正徳
阪口 保
上田 悟
高柳 忠夫
和田 恵治
中村 昭

観光振興対策特別委員会

記紀・万葉プロジェクトに関する事、にぎわい交流の拠点整備の推進に関する事を調査並びに審査します。(定数8名)



委員長 岩田 国夫



副委員長 辻本 黎士

- 委員
小林 照代
大坪 宏通
畠 真夕美
森川 喜之
粒谷 友示
梶川 虔二

子育て支援・少子化対策特別委員会

子育て支援に関する事、少子化対策に関する事を調査並びに審査します。(定数8名)



委員長 今井 光子



副委員長 宮木 健一

- 委員
藤野 良次
乾 浩之
安井 宏一
奥山 博康
米田 忠則
出口 武男

病院を核としたまちづくり推進特別委員会

県立医科大学附属病院の周辺整備に関する事、新奈良県総合医療センター等の周辺整備に関する事を調査並びに審査します。(定数9名)



委員長 森山 賀文



副委員長 山本 進章

- 委員
大国 正博
山村 幸穂
中野 雅史
神田加津代
荻田 義雄
小泉 米造

南部・東部地域振興対策特別委員会

南部振興計画に関する事、東部振興計画に関する事を調査並びに審査します。(定数9名)



委員長 新谷 紘一



副委員長 松尾 勇臣

- 委員
尾崎 充典
太田 敦
田中 惟允
岡 史朗
国中 憲治
秋本登志朗
川口 正志

平成26年8月1日発行 年4回発行 編集・議会広報委員会 発行・奈良県議会



リサイクル適性 この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。